

## 「間葉性軟骨肉腫の治療成績に関する多施設共同研究」

**【研究対象】** 病理組織学的に診断が確定されている間葉性軟骨肉腫の患者さんで、日本骨軟部肉腫治療研究会 (Japanese Musculoskeletal Oncology Group: 以下 JMOG と略す) 参加施設において治療が行われた方を対象とします。

### 【研究の概要】

間葉性軟骨肉腫は軟骨肉腫の 3% を占める極めて稀な悪性腫瘍で、通常型の軟骨肉腫と異なり間葉性軟骨肉腫の多くは体幹骨、特に顔面骨や脊椎に発生し、局所再発や遠隔転移を起こす症例が多く、予後は一般的に不良です。通常は手術や化学療法、放射線照射を用いた集学的治療が行われますが、化学療法や放射線治療の有効性は未だに明らかになっていません。本研究は、東京大学医学部附属病院整形外科、国立がん研究センター中央病院骨軟部腫瘍・リハビリテーション科を研究事務局として、わが国におけるほぼ全ての骨軟部腫瘍診療施設が参加している日本骨軟部肉腫治療研究会 (JMOG) が協力して多数例の間葉性軟骨肉腫を解析し、その臨床像と適切な治療方法を明らかにしようとする多施設共同研究です。

**【研究の意義】** 本研究により、多数例における間葉性軟骨肉腫の臨床成績が明らかになれば、その臨床像と治療に対する反応を理解した、より適切な治療が可能になることが期待されます。

**【目的】** 本研究の目的は、本邦の骨・軟部腫瘍専門施設における間葉性軟骨肉腫の治療成績を後方視的に検討し、その成績向上のために改善すべき点を明らかにすることです。

**【方法】** 骨軟部肉腫治療研究会 (JMOG) 参加各施設において、間葉性軟骨肉腫と診断・治療された患者さんの治療経過を、各施設で匿名化した後に調査票に記入し、郵送にて東京大学医学部附属病院の研究事務局に送付します。研究事務局では、この匿名化されたデータを集計し、腫瘍学的成績について、専用のコンピュータソフトウェアを用いて解析を行います。

【個人情報保護に関する配慮】 本研究では、患者さん個人が特定されない方法(匿名化)で情報を収集します。対象となる患者さんの個人情報は各施設内で厳重に管理し、名前などの個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があればその方の診療記録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。研究結果がすでに学会、論文等で発表されていたりする場合はご希望に添えないこともあります。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院 整形外科 穴澤卯圭

TEL:047-322-0151 FAX:047-325-4456